

理科(小)部会 実技研修会 終了報告

テーマ	授業で使える実験プラン、教材紹介	
日時	令和8年7月10日(金)	
会場	恵庭市立島松小学校 理科室	
講師	貞光 千春 氏 (お茶の水女子大学 総合知開発研究機構 サイエンス&エデュケーション研究所 特任准教授) 田中 千尋 氏 (お茶の水女子大学 総合知開発研究機構 サイエンス&エデュケーション研究所 特任講師) 植松 修二 氏 (お茶の水女子大学 総合知開発研究機構 サイエンス&エデュケーション研究所 特任助教)	
参加者	20名(役員除く)	
研修会 の 様子		【植松修二氏による説明】 今年度の中心単元である「骨とからだ」に関わる教材を選定していただいた。
		【骨の模型を紙ねんどでつくる実践】 過去の理科部会の実践でも報告がほとんどないパターンであった。
		【貞光千春氏による説明】 昨年度に引き続き、中心単元である「水溶液」に関わる教材について、発展的な課題解決を紹介していただいた。
		【「マローブルー」で水溶液調べ】 今年度は、「塩水と海水は違うのだろうか」という問題解決の調べる手立てとして活用する紹介であった。
		【田中千尋氏による、石狩川調べ】 ショートカット工事の前後で、糸をはわせて、長さを比べた。「日本で一番おもしろい川」「趣味はと聞かれたら、石狩川」というほど、石狩川は教材として価値があるとのことであった。